

日本人の心を象徴する
普遍的なまでの美しさ。

青空にいぶし瓦の瓦が映えて、恵を呑むほどに美しい外観。杉の焼き板の上には、潔いくらいにすっきりとした銅版をあしらひ、漆喰の壁には、倉敷格子が華を添える。庇を大きく取っているため暑い夏の陽射しを遮り、土壁の室内に居ると、まるで避暑地のような心地よさだ。日本の伝統工法の素晴らしさを五感で感じることが出来る住まいといえる。